

薔薇の想像力

／カントから三島由紀夫まで／



公開講座

講師

谷川 渥氏

たにがわ

あつし

開催日

2016

2月6日(土)

[時間] 18:00～19:30 (開場／17:30～)

[定員] 200名 入場無料(事前申込は不要)

[会場] 高知県立大学 永国寺キャンパス教育研究棟1階A101講義室

※会場には駐車場がありませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

プロフィール 谷川 渥氏

美学者。

東京大学大学院 博士課程修了。文学博士。
現在、京都精華大学客員教授。

マニエリスム、バロックからモダニズム、現代美術にいたる広範な領域を視野に収め、美学原理論、芸術時間論、廃墟論、だまし絵論、シュルレアリスム論、「芸術の皮膚論」など、美学的地平を開拓。著訳書多数。

講座概要 薔薇は西洋を代表する花として近代日本の花の想像界に革命をもたらし、これが東洋起源だとの説もありますが、日本と西洋との差異がしばしば桜と薔薇の対立に象徴的に置き換えられてきました。近代美学を開いたカントの『判断力批判』も、「この薔薇の花は美しい」という命題をめぐる展開されたものです。その薔薇が近代日本においてどのような意味で、どんなふうに使われてきたのか、西洋と日本の絵画作品の何点かにも触れながら、「薔薇狂い」の作家たちの系譜を、特に三島由紀夫にいたるまで、具体的に探ってみたいと思います。

主催／高知県立大学地域教育研究センター 後援／高知県立美術館・高知県立文学館・高知県立図書館・高知市文化振興事業団・金高堂書店(順不同)

お問い合わせ先

高知県立大学地域教育研究センター (担当／久次米(くじめ)・山崎)

〒780-8515 高知市永国寺町2番22号 永国寺キャンパス地域連携棟3階 Tel.088-821-7125 Fax.088-821-7126 Mail. aeru@cc.u-kochi.ac.jp